

## ポスターセッション (P-生物処理-1 ~ P-生物処理-10)

本セッションでは活性汚泥法の機能強化を目的とした研究が5件、生物処理に関連する微生物に焦点を当てた研究が5件報告された。活性汚泥法の機能強化に関しては、固液分離を容易にする新たな手法としての磁化活性汚泥に関する研究が3件報告され、今後の展開が期待された。他にはガス透過性膜を担体とした汚泥減量化手法や、硝化細菌添加による窒素除去強化手法が紹介された。一方、微生物に焦点を当てた研究の内2件は真菌を用いたマンガン酸化に関する研究報告であった。これらは、重金属に高い吸着能を持つマンガン酸化物を真菌に作らせるプロセスの基礎研究といえる。真菌の生成物を利用するといった視点は興味深く、今後の応用が期待された。他は FISH 法による糸状性細菌の検出や、pCR-DGGE による低温メタン発酵生物膜の解析などが報告された。

(東京大学大学院工学系研究科 長谷川 聖)